



2013-14

小千谷ライオンズクラブ 活動レポート

OJIYA LIONS CLUB

ライオンズクラブは地域社会への奉仕団体です。

2014年、小千谷ライオンズクラブは結成47年を迎えます。
現在は63名のメンバーが献血活動や清掃活動をはじめ、
青少年の健全育成など地域に根ざした様々な奉仕活動を実施しています。
奉仕の精神に溢れた私たちの活動を紹介します。



<http://333a.jp/ojiya/>

私たちの奉仕活動は、HPでご覧になれます。

ライオンズクラブのモットー

We Serve

われわれは奉仕する

ライオンズクラブは、世界約200ヵ国、130万人、
日本では11万人を超える会員で構成されている、世界最大の奉仕団体です。
「ウィ・サーブ（われわれは奉仕する）」をモットーとして掲げ、
世界の国々でさまざまな奉仕活動に取り組んでいます。

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る

※LIONSの一字ずつを取り入れたもの。

誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する

平成25-26年度

会長 横田 隆

会長挨拶

2013年度の活動を終え、一年間の計画にそって協力をいただいた会員の皆様には心より感謝を申し上げます。又、お忙しい中をゲストスピーチをいただいた皆様や、青少年育成・環境保全・保健福祉活動等において当クラブに協力をいただきました関係各位に深く感謝申し上げます。

私の会長モットーであります「人と故郷（ふるさと）に感謝と奉仕」と掲げ活動してまいりましたが、一年を振り返りますと、何とか継続事業は進めたものの誠の感謝の気持ちと奉仕がふるさとに出来たのかな、当クラブが友愛を持って楽しく会員が集い奉仕を重ねて行く事はと考えますと、いま一つ私の努力の足りない所かなと思っております。

さて、年度中にはどんぐりの森プロジェクトに参加し平成24年の秋より育てて来た苗木約1500本余りを震災復興市民植樹祭や県内各地で活用して頂き会員の温かい気持ちがふるさとの大地に根をおろしたと思っております。又、市制60周年・震災復興10周年の小千谷薪能の実行委員会に参加をし、多くのご協力をいただき有意義な活動をさせてもらいました。又、会長として各団体との交流や地区ライオンズクラブの周年記念式典の参加・友好クラブとの交流等では楽しく一年を過ごさせて頂き有難うございました。

これからも感謝と奉仕の気持ちを心に持ち続けライオンズの誓いのもとに活動を続けていきたいと思っております。会員の皆様、本当にお世話になり有難うございました。

ライオンズクラブは、一定の日時を決め、月2回のクラブ独自の企画による例会を開催しています。各界からのゲストを招いた講演会やメンバーによる講演や勉強会も行われ、有意義な時間を過ごしています。

ゲストスピーカー

クラブ例会に招かれて講演する当該クラブ会員以外の人を指します。年に数回、開催されています。



8月21日
山古志闘牛会会長の松井治二様をお招きし、「あれから八年」という題材でゲストスピーチを戴きました。



9月18日
樋口織工藝社代表取締役の樋口隆司様をお招きし、「小千谷の縮文化」という演題でゲストスピーチを戴きました。



2月5日
ぶれジョブ連絡協議会会長の石畑健一様と保護者の方をお招きし、「ぶれジョブの活動について」という演題でゲストスピーチを戴きました。



3月19日
新潟銘醸株式会社の杜氏の細川様をお迎えし、日本酒の奥深さを語っていただきました。



4月2日
小千谷小隊 小隊長 消防司令補 波辺秀樹様から「東日本大震災第三陣救助活動について」語っていただきました。



5月7日
小千谷魚沼地区保護司会の小林隆一会长様と池之上芳俊支部長様をお招きし、「保護司会の活動について」という演題でスピーチをいただきました。

メンバースピーチ

例会に会員が大勢を前にしたスピーチ実践を通じて、ビジネスの現場でも役立つスキルが身につきます。



7月17日
L. 関根から「だまされるものか」と題して講演しました。



12月4日
L. 野村から「介護の現状について」という演題で介護の問題点や心構えなどを解説していただきました。

大会

国際大会、複合地区大会、地区大会などがあり、地区大会は地区ガバナーおよび副地区ガバナーを選出し、国際理事候補者などを推薦し、地区に関する決議を行います。



有限会社米萬商店
代表取締役 相崎 秀人

有限会社安部技研
代表取締役 安部 功

セブンイレブ小千谷東(寅)山松酒店
代表社員 池 敏

弁護士法人中村総合法律事務所小千谷支部
支部長 石田 道明

大川印刷株式会社
代表取締役 大川 晃一

大洲産業株式会社
取締役社長 大洲 一喜

魚沼建材有限会社
代表取締役 大洲 庸一

ユニオンフーズ株式会社
代表取締役 大宮 武一

KDデザイン室
代表・デザイナー 金子 敏明

ラーメンつり吉
社長 喜多村利幸

杵淵公認会計士事務所
所長 杵淵 一夫

株式会社木村工業所
取締役 木村 一彦

私たちは地域の人たちと手を取りあい、スポーツなどを通じ青少年の健全育成やまちづくりの為に様々な活動を実施しています。また、社会にはびこる誘惑から子供を守り、次世代を担う「人を育てる」ことに務めます。

学童野球大会

青少年委員会

ライオンズクラブは、夢に向かって全力でプレーする子どもたちを応援しています。野球を通じて、子どもたちの夢や希望、そして健全な「こころ」と「からだ」の育成を願っています。



8月4日、白山運動公園において市内10チームと加茂チームが参加。熱戦が繰り広げられました。
 ●中学の部 優勝 千田中学校 ●学童の部 優勝 和泉クラブ

親善バレーボール大会

環境保全委員会

ライオンズクラブは、バレーボール大会を通じて児童の親睦と交流を図り、子供たちの体力の向上と逞しい意欲の育成に努めています。



8月4日、小千谷総合体育館にて開催。最後の試合となる3年生と下級生との決勝戦など、見応え充分な試合となりました。
 ●優勝 片貝中学校A ●準優勝 片貝中学校B ●第3位 東小千谷中学校B

株式会社木村食品 代表者 木村 学	小杉興産INC、有限会社米蔵 代表取締役 小杉 義則	小林不動産株式会社 代表取締役 小林 宏至	有限会社近藤商店 代表取締役社長 近藤 貴司
株式会社案親巧房 代表取締役 佐藤 諭	有限会社小千谷清掃社 取締役会長 佐藤 立美	大市電気株式会社 代表取締役 佐藤 春男	三仏生繊維株式会社 取締役会長 佐藤 政英
株式会社トラスト 代表取締役 品田誠一郎	株式会社新保工務店 代表取締役 新保 浩富	せきねFP社会保険労務士事務所 代表 関根 芳美	株式会社さくら印刷 代表取締役 瀬沼 新作

山紫水明、自然豊かな小千谷市の自然環境を将来にわたり保全して行かねばなりません。ライオンズクラブは、森や林を育て、公園を清掃し、緑を守る奉仕活動を地道に行っております。シルバー人材センターとの合同作業は、毎年恒例の奉仕活動になりました。

白山運動公園の清掃・ライオンズの森整備

ライオンズの森委員会

年に2回、白山運動公園周辺をシルバー人材センター様と合同で草刈り・清掃等の活動を行います。



自然と緑を守り
会員自身が汗をかく
ボランティア活動

私たちのライオンズの森は、結成25周年の記念事業として市より土地をお借りして造成し、加茂ライオンズクラブとの友好を重ねながら整備を続けてきました。

その後平成9年に30周年記念式典で小千谷市に寄贈したという経緯から、小千谷市シルバー人材センター様に呼びかけて賛同をいただき、平成10年より、15年を越す合同作業を続けています。

どんぐりの森プロジェクト

ライオンズの森委員会

どんぐりの森プロジェクトは落葉広葉樹の森を回復させることを目的に3年前からスタートしました。どんぐり拾いから苗木作り、約1500本育てました。今年度は、震災復興市民植樹祭において約100本の苗木を植樹しました。



5月18日 山本山の市民の家山頂側付近を会場に震災復興市民植樹祭が行われ、どんぐりの苗木を植樹しました。

株式会社CH高野
代表取締役 高野 喜彦

株式会社高橋電気
会長 高橋 賢一

株式会社高五組
代表取締役 高橋 忠利

株式会社和光造園緑地建設
取締役会長 田中 一男

有限会社田中造園
代表取締役 田中 定信

株式会社中澤建工
代表取締役 中澤 忍

有限会社南雲建築工業
代表取締役 南雲栄三郎

ミドリ薬品株式会社
代表取締役 野村 輝雄

社会福祉法人「ほのほの小千谷福祉会」
事務本部長 長谷川きよ

キャットハンド
代表 平澤 和孝

株式会社平忠
代表取締役 平澤 英康

明治安田生命保険相互会社
小千谷営業所長 古本 浩一

保健福祉

献血運動・アイバンク登録の推進・
骨髄バンクドナー登録運動・健康促進

ライオンズクラブは自治体と連携し、アイバンク・献血推進、骨髄バンクドナー登録運動を進めています。角膜移植により目の不自由な人たちに光を取り戻したい。また、地域社会の人たちが、健全で安心して暮らせるよう奉仕に務めます。

献血募金活動

保健薬害アイバンク委員会

国内で献血が本格化した1960年代半ばから積極的に献血の推進に取り組み、輸血用血液の確保に大きく貢献を続けています。1989年には、日本赤十字社が創設した第1回献血推進賞を受賞しました。



8月25日
小千谷郵便局前に於いて献血の呼びかけを行いました。



8月25日
おぢやまつり本町会場にて献血募金活動を行いました。

血液採取データ(おぢや祭り)

- 受付人数：18名(献血人数15名)
- ・200ml 3名
- ・400ml 12名

募金先・募金額

- 募金先：
薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金
- 募金額：35,428円

アイバンク・骨髄バンク募金活動

青少年・環境保全・PR/IT情報委員会

ライオンズクラブは視覚障害者福祉や視力保護の活動に重点を置いています。現在全国にある54のアイバンクの多くは、各地のライオンズによって設立され、運営においても中心的役割を担っています。



12月18日
年忘れ家族パーティーを開催。抽選会時のドネーションを募金しました。(写真は、L.渡辺のソロ演奏)



3月1日
風船一揆イベント平沢会場にて沢山の皆様より善意の募金をいただきました。

募金実施会場・募金額

- 家族パーティー抽選会時のドネーション
40,000円
- 風船一揆平沢会場ライオンズブース
80,002円

募金先

- 公益財団法人 日本骨髄バンク
60,001円
- 公益財団法人 日本アイバンク協会
60,001円

赤い羽根共同募金活動

赤い羽根の募金活動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。

小千谷ライオンズクラブは毎年継続して募金を行っております。平成25年度は、15名の会員から2,000円/人で30,000円の特別募金を頂きました。記念に赤い羽根のバッジをお渡ししました。



ゲートボール大会

社会福祉・環境保全委員会

ゲートボール大会を通して、ゲートボール愛好者との親睦と健康と生きがいづくりを促進しています。今年で30回目を迎えました。



有限会社星金養鯉場
代表取締役 星野 勝之

有限会社ネック
代表取締役 星野 幸平

有限会社片貝煙火工業
専務取締役 本田 和憲

株式会社本田建築
取締役 本田 剛

有限会社マツイ
代表取締役 松井 靖博

株式会社木村食品
専務取締役 宮 秀夫

村山建築
代表 村山 正三

合資会社京屋商店
代表社員 山崎 達也

有限会社山田鉄筋工業
代表取締役 山田 達也

有限会社山田自動車工業
取締役 山田 浩

有限会社山長
取締役 山田 豊

中央タクシー株式会社
代表取締役 横田 隆

ライオンズクラブは、災害からの一日も早い復興を願い、地域社会の皆さんと共に災害復興支援活動を継続しています。

被災地に食糧、水、衣類、医療品などの緊急支援物資を提供しています。

自然災害救援ボランティア

自然災害が起きたときには、ライオンズは真っ先に救援に駆けつけて災害救援ボランティアを行います。ハイチが大地震に襲われたとき。アメリカをハリケーン・カトリナが襲ったときも、日本で地震とそれに続く津波が大災害を引き起こしたときも、ライオンズは緊急支援と長期的な災害救援を提供しました。

多くの地元のライオンズが自然災害で被災した地域で救援活動ボランティアを行っており、LCIFはライオンズの救援活動に毎年5000万ドル以上を交付金として支給しています。世界中のライオンズからの惜しみない献金が、こうした国際的な災害救援活動を可能にしています。また、災害準備計画と災害救援プログラムによって、自然災害、人災、または保健上の緊急事態発生時にライオンズは地域社会を支援でき、他国でのライオンズの救援活動に貢献できます。



2010年ハイチ大地震

日本の地震と津波の救済事業

日本にいる10万人を超えるライオンズを中心として、救援活動が本格的に進んでいます。

100万ドルが、放射線レベルを下げるための高圧洗浄機2000台を提供するために役立てられます。洗浄機は民間の建物や個人の住宅の表面を除去または洗浄するために使用され、20,000人の人々の役に立つと見積もられています。

水産業を活気づける目的で、東北沿岸の3つの地域に厨房用品や設備を支給するために120万ドルが提供されます。地元の自治体はこの事業に土地と建物を提供し、推定20,000人の役に立つ予定です。

150万ドルが、障害のある被災者のための支援基金の設置と、ライオンズによる統括運営センターの設置に充てられます。この事業は、日本のライオンズが長期的なニーズについて計画できるよう支援し、現在進行中の地震と津波の救済及び復興支援活動も行ないます。

397,403ドルが、被害の大きかった地域でのコインランドリー建設に役立てられ、洗濯機や乾燥機を使用できない数千人の人々を助けます。ライオンズはこの事業のために土地の寄付を得られるよう、自治体と協力しています。各コインランドリーにはコミュニティ・スペースも設けて、ライオンズクラブの例会を再開できるようにする予定です。

現在ラジオの放送を聴くことができない仮設住宅エリアに非常用ラジオ設備を支給するために、311,688ドルが提供されます。この事業では数千台のラジオを提供し、推定30,000人の役に立つ予定です。



有限会社吉田商店 取締役 吉田 久則	有限会社若井管工設備 代表取締役社長 若井 和彦	和田建工 代表取締役 和田 孝雄	株式会社わたや 代表取締役 和田 正樹
渡吉建設 代表 渡邊 克吉	渡辺税理士事務所 所長 渡辺 浩行	株式会社日本観光 代表取締役 渡辺 司之	株式会社渡部工業 取締役 渡部 貞男
有限会社アクトホーム 代表取締役 広井 年郎	有限会社栄鉄工 代表取締役 小宮 修	ヒムエレクトロ株式会社 代表取締役 丸山 春治	高野板金株式会社 代表取締役 高野 強
株式会社ユーワ 代表取締役 山崎 孝夫	株式会社魚沼電子 代表取締役 宮川 久夫	株式会社ヨシザワ 代表取締役会長 吉澤 義弘	

ライオンズクラブの歴史

1917

アメリカの実業家メルビン・ジョーンズが、他者への奉仕を目的としてライオンズクラブ国際協会を創立。その理念は多くの人の心をとらえ、世界各国にクラブが結成されていきました。



結成35周年記念式典

1945

ライオンズクラブ国際協会は、サンフランシスコで開かれた国際連合結成会議において主導的な役割を果たしました。47年以来、国際経済社会理事会の民間諮問機関として活躍しています。

1952

日本では、戦後1952年3月にライオンズクラブが誕生。その後、わずかの年月のうちに多数のクラブと会員を集め、現在では世界第3位のライオンズ国となっています。



結成40周年記念式典

1968

小千谷ライオンズクラブは、高度経済成長時代の1967年（昭和42年）12月10日、初代会長大川晃佑の下、新潟セントラルライオンズクラブの スポンサーによって、翌1968年（昭和43年）9月22日に国際協会より正式に承認されました。



結成45周年記念式典

1990

世界中から予防可能あるいは回復可能な失明を根絶するためのプロジェクト「視力ファースト・プログラム」を開始。

2007

ライオンズクラブは、イギリスの経済紙「ファイナンシャル・タイムズ」が国連グローバル・コンパクトと協力して実施したNGOの格付けで最高位を獲得。



message

「社会の役に立ちたいが、何から始めればいいのか？」とお考えの方にとって、ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。ライオンズクラブの一員となることで、社会に貢献しながら、自分の人生をより豊かに変えることができます。

ライオンズクラブの会員になるには

ライオンズクラブへの入会資格は、法的な成人で道徳的な人格を持ち、人類と平和を愛し、地域の人々の尊敬を集める人。批判は謙虚に、賞賛は惜しみなく、誠実を旨とし、真の友情と奉仕の心を持った人です。

入会にあたっては、ライオンズメンバーの紹介（招請）が必要です。招請ののち、クラブメンバーの承認を経て会員となります。費用としては入会金と会費が必要です。入会前に例会を見学する事ができます。



国際協会333-A地区4R2Z

小千谷ライオンズクラブ

事務局 〒947-8691 新潟県小千谷市本町2丁目1番5号
TEL.0258(83)2445 FAX.0258(86)6703